

マイクロマシン／MEMS 分野関連 【2019 年 12 月の経済報告】

令和元年 12 月 23 日

本稿は、マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向（内閣府発表 景気動向指数より）
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数（内閣府、令和元（2019）12 月 6 日発表） （令和元（2019）年 10 月分速報より抜粋）

10 月の CI（速報値・平成 27(2015)年=100）は、先行指数：91.8、一致指数：94.8、遅行指数：104.4 となった。

先行指数は、前月と比較して 0.1 ポイント下降し、3 か月連続の下降となった。3 か月後方移動平均は 0.60 ポイント下降し、16 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.57 ポイント下降し、17 か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 5.6 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。3 か月後方移動平均は 1.50 ポイント下降し、2 か月ぶりの下降となった。7 か月後方移動平均は 0.87 ポイント下降し、12 か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.2 ポイント上昇し、3 か月ぶりの上昇となった。3 か月後方移動平均は 0.10 ポイント下降し、2 か月連続の下降となった。7 か月後方移動平均は 0.03 ポイント下降し、3 か月連続の下降となった。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（景気動向指数の概要 pdf へ）

<https://www.esri.cao.go.jp/stat/di/201910psummary.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（12月）（内閣府、令和元年12月20日（金）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より）

<日本経済の基調判断>

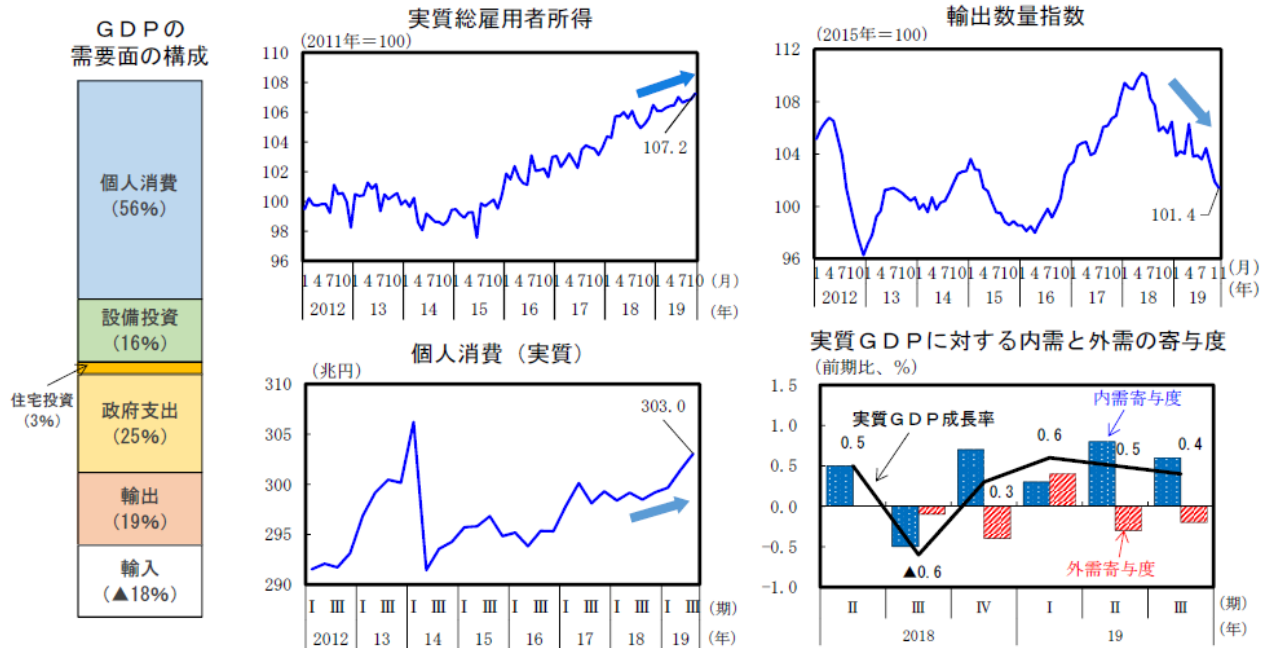
（現状）

- ・ 景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
- ・ 先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

今年のポイント(1)

－ 海外経済の減速を背景に外需が弱い中、内需が景気回復をけん引 －

- 2019年の我が国経済は、6年連続で今世紀最高水準の賃上げが実現し、実質総雇用者所得が緩やかに増加する中で、個人消費（GDP構成比56%）を始めとする内需が緩やかに増加。
- その一方で、海外経済の減速を背景に、輸出（GDP構成比19%）は1年間を通じて弱い動き。
- 全体として、外需の低調さを内需が支えることで、景気は緩やかな回復を続けている。



(備考) 1. 内閣府「国民経済計算」、財務省「貿易統計」により作成。
2. 左図は2018年の年次推計値（名目）。
3. 中央上図は、内閣府推計値（季節調整値）であり、毎月勤労統計調査の再集計値（抽出調査系列）を基に推計した値。中央下図は、実質季節調整値。
4. 右上図は、内閣府による季節調整値。3か月移動平均値。右下図は、実質季節調整値。図中の数値は各期の実質GDP成長率（前期比）。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。（月例経済報告資料 pdfへ）

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2019/12kaigi.pdf>

■ 設備投資（令和元年 12 月 12 日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋）
令和元年 10 月実績： 機械受注統計調査報告

1. 機械受注総額の動向をみると、2019（令和元）年 9 月前月比 18.7%減の後、10 月は同 5.2%増の 2 兆 2,519 億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比 1.8%増の 1 兆 65 億円、官公需は同 40.8%増の 2,891 億円、外需は同 2.9%増の 8,775 億円、代理店は同 3.9%減の 1,156 億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2019（令和元）年 9 月前月比 2.9%減の後、10 月は同 6.0%減の 7,988 億円となった。このうち、製造業は同 1.5%減の 3,549 億円、非製造業（除く船舶・電力）は同 5.4%減の 4,633 億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月		2019年		2019年		2019年		2019年	
	2018年 (平成30年) 10-12月 (実績)	2019年 (平成31年) 1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	10-12月 (見通し)	2019年 (令和元年) 7月 (実績)	8月 (実績)	9月 (実績)	10月 (実績)	
受注総額	2.5	-10.4	1.1	3.1	2.8	0.1	11.8	-18.7	5.2	
民需	-5.7	-0.9	7.1	2.1	-2.8	-6.5	15.0	-20.8	1.8	
〃（除船電）	-3.2	-3.2	7.5	-3.5	3.5	-6.6	-2.4	-2.9	-6.0	
製造業	-4.1	-7.7	2.5	-0.9	2.8	5.4	-1.0	-5.2	-1.5	
非製造業（除船電）	-1.9	-0.3	13.1	-7.3	3.7	-15.6	-8.0	2.6	-5.4	
官公需	-6.3	-24.1	40.4	-4.5	9.2	11.0	36.8	-45.2	40.8	
外需	10.4	-12.3	-14.6	6.8	8.1	-6.0	21.3	-12.6	2.9	
代理店	4.4	-5.7	1.8	-5.6	0.8	1.7	2.5	0.9	-3.9	

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 HP をご参照下さい。

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/1910juchu.html>

■ 鉱工業指数調査（経済産業省 2019年12月13日発表 より抜粋）

結果の概要【2019年10月分】

鉱工業指数（生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数）、製造工業生産予測指数
 ～ 製造業の動きから見る日本の景気 ～

<概況>

- ・製造工業生産能力指数は、98.2で前月比0.4%の上昇であった。
- ・製造工業稼働率指数は、95.8で前月比-4.5%の低下であった。

製造工業生産能力指数、2015年=100

生産能力	原指数		
	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
	98.2	0.4	-0.5

製造工業稼働率指数、2015年=100

稼働率	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
	95.8	-4.5	98.6	-8.6

鉱工業指数、2015年=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比(%)	指数	前年同月比(%)
生産 (速報値)	98.6 (98.9)	-4.5 (-4.2)	101.0 (101.3)	-7.7 (-7.4)
出荷 (速報値)	98.1 (98.3)	-4.5 (-4.3)	99.4 (99.6)	-7.3 (-7.1)
在庫 (速報値)	104.2 (104.1)	1.3 (1.2)	104.7 (104.6)	2.6 (2.5)
在庫率 (速報値)	113.4 (113.5)	4.6 (4.7)	112.8 (112.9)	9.5 (9.6)

なお、詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

<2019年10月の製造工業生産能力指数・稼働率指数の動向>

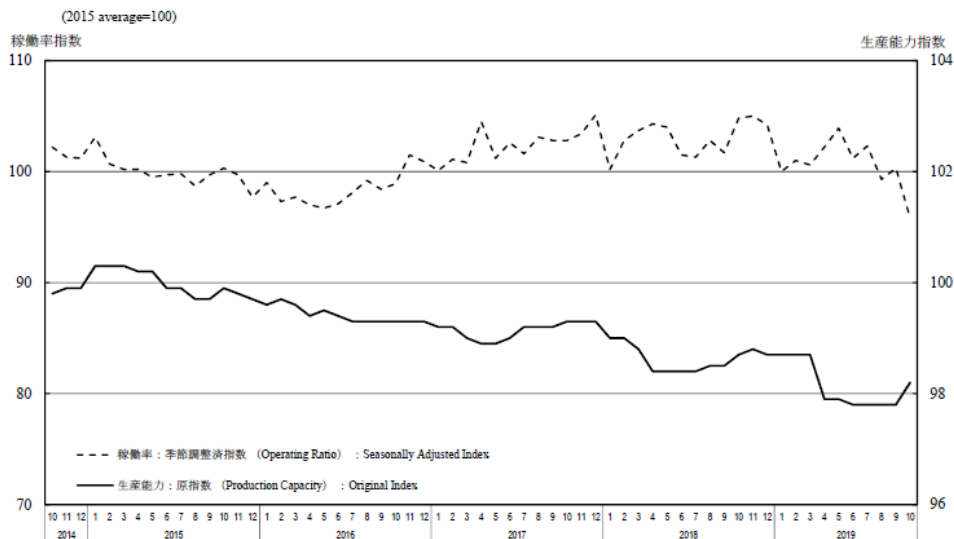
- (1) 10月の製造工業生産能力指数は、98.2で前月比0.4%の上昇であった。
業種別にみると、電子部品・デバイス工業同6.3%、生産用機械工業同0.5%、金属製品工業同0.4%等が上昇し、窯業・土石製品工業同-0.9%、鉄鋼・非鉄金属工業同-0.1%が低下した。
- (2) 10月の製造工業稼働率指数は、95.8で前月比-4.5%の低下であった。
業種別にみると、輸送機械工業同-8.8%、生産用機械工業同-14.2%、汎用・業務用機械工業同-3.9%等が低下し、石油・石炭製品工業同4.6%、電子部品・デバイス工業同0.9%が上昇した。

製造工業生産能力指数・稼働率指数の時系列表
Historical Data for Indices of Production Capacity and Operating Ratio

index.2015=100

年 月	生産能力(末) Production Capacity			稼働率 Operating Ratio			Year and Month	
	原指数 Original Index		前年(同月期)比 %Change From Previous Year	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index		
	前月(期)比 %Change From Previous Month/Quarter	前月(期)比 %Change From Previous Month/Quarter		前月(期)比 %Change From Previous Month/Quarter	前年(同月期)比 %Change From Previous Year			
2016年	99.3		-0.4			98.5	-1.5	C.Y. 2016
2017	99.3		0.0			102.3	3.9	C.Y. 2017
2018	98.7		-0.6			103.1	0.8	C.Y. 2018
2016年度	99.0		-0.6			99.2	-0.1	F.Y. 2016
2017	98.8		-0.2			102.7	3.5	F.Y. 2017
2018	98.7		-0.1			102.5	-0.2	F.Y. 2018
2018年 III期	98.5	0.1	-0.7	101.9	-1.4	101.0	-1.1	Q3 2018
IV期	98.7	0.2	-0.6	104.7	2.7	105.7	2.0	Q4
2019年 I期	98.7	0.0	-0.1	100.5	-4.0	101.5	-2.2	Q1 2019
II期	97.8	-0.9	-0.6	102.4	1.9	101.0	-0.8	Q2
III期	97.8	0.0	-0.7	100.6	-1.8	100.4	-0.6	Q3
2018年 8月	98.5	0.1	-0.7	102.8	1.5	97.1	-0.3	Aug. 2018
9月	98.5	0.0	-0.7	101.7	-1.1	100.9	-3.3	Sep.
10月	98.7	0.2	-0.6	104.8	3.0	107.9	3.9	Oct.
11月	98.8	0.1	-0.5	105.0	0.2	107.2	2.9	Nov.
12月	98.7	-0.1	-0.6	104.2	-0.8	102.0	-0.7	Dec.
2019年 1月	98.7	0.0	-0.3	100.0	-4.0	97.4	-0.2	Jan. 2019
2月	98.7	0.0	-0.3	101.0	1.0	99.8	-1.8	Feb.
3月	98.7	0.0	-0.1	100.6	-0.4	107.2	-4.5	Mar.
4月	97.9	-0.8	-0.5	102.2	1.6	101.6	-0.5	Apr.
5月	97.9	0.0	-0.5	103.9	1.7	99.7	-0.1	May
6月	97.8	-0.1	-0.6	101.2	-2.6	101.6	-1.8	Jun.
7月	97.8	0.0	-0.6	102.3	1.1	107.6	2.5	Jul.
8月	97.8	0.0	-0.7	99.3	-2.9	92.4	-4.8	Aug.
9月	97.8	0.0	-0.7	100.3	1.0	101.1	0.2	Sep.
10月	98.2	0.4	-0.5	95.8	-4.5	98.6	-8.6	Oct.

製造工業生産能力指数・稼働率指数の推移(グラフ)
Historical Data (Graph) for Indices of Production Capacity and Operating Ratio



詳細は以下の経済産業省 HP をご参照下さい。(指数の動向資料 pdfへ)

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_201910nj.pdf

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2019年11月29日発表より抜粋)

【2019年9月概況】

- ・ 2019年9月のグローバル出荷額は3,340億円、前年比97.0%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比94.6% 1,378億円）、接続部品（同99.1% 878億円）、変換部品（同98.6% 614億円）、その他の電子部品（同98.7% 467億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比97.2% 761億円）、米州（同101.0% 333億円）、欧州（同100.4% 329億円）、中国（同96.6% 1,238億円）、アジア・その他（同94.6% 683億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額（2019.11.29発表：毎月更新）

電子部品出荷額（億円）	2019年度						2019年度累計		
	7月		8月		9月		4月-9月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,197	94	3,180	90	3,340	97	18,832	94	
(日本)	786	99	699	95	761	97	4,388	95	
品目別	受動部品	1,329	92	1,305	86	1,378	94	7,902	94
	コンデンサ	940	91	926	86	980	93	5,644	94
	抵抗器	125	89	118	84	122	90	735	89
	トランス	35	89	29	80	32	86	210	89
	インダクタ	225	101	226	93	240	101	1,294	97
	その他	2	72	3	93	3	133	17	90
	接続部品	876	102	833	93	878	99	5,022	97
	スイッチ	385	109	348	99	371	100	2,271	107
	コネクタ	487	97	481	90	503	98	2,726	90
	その他	3	68	3	66	3	65	24	78
	変換部品	556	90	606	100	614	98	3,360	94
	音響部品	116	79	116	92	118	91	700	82
	センサ	204	95	201	96	211	100	1,207	95
	アクチュエータ	236	91	288	107	284	100	1,453	99
	その他の電子部品	433	93	434	85	467	98	2,547	91
電源部品	169	94	161	87	171	93	984	89	
高周波部品	263	93	272	83	296	101	1,562	92	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2019年度»

地域別出荷金額（億円）	2019年度						2019年度累計	
	7月		8月		9月		4月-9月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,197	94	3,180	90	3,340	97	18,832	94
日本	786	99	699	95	761	97	4,388	95
米州	327	97	333	91	333	101	1,999	99
欧州	314	94	302	92	329	100	1,937	97
中国	1,091	89	1,155	87	1,238	96	6,548	90
アジア他	683	99	692	90	683	94	3,988	97

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）HP をご参照下さい。

http://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上